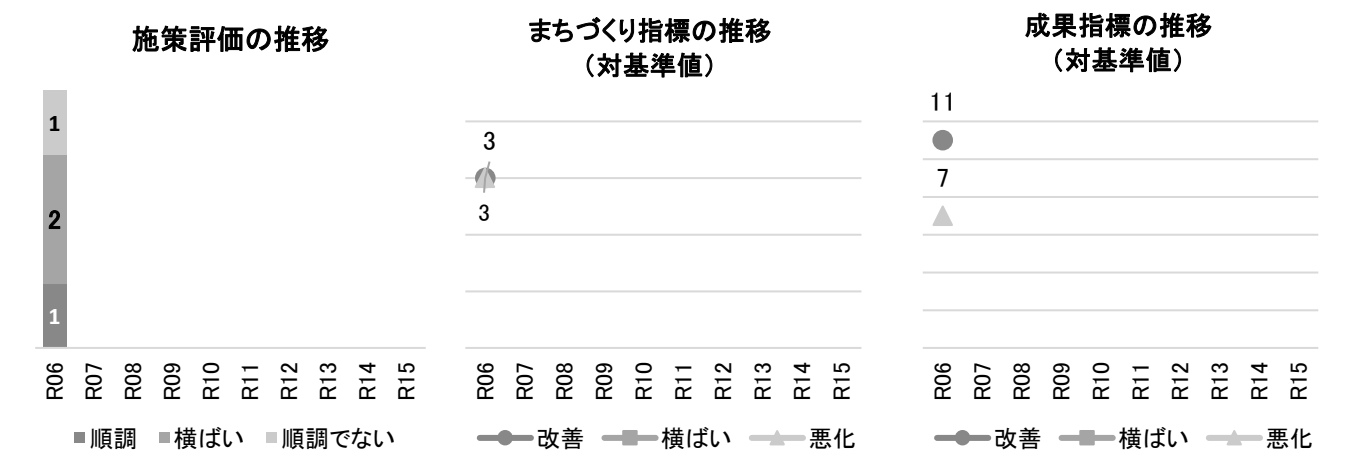


めぐすまちの姿2 環境・経済分野
～住みやすい環境を保全し、にぎわいと活力に満ちている～

施策評価の推移

施策名	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
良好な生活環境の保全	順調でない									
自然と共生する持続可能な社会の実現	順調									
魅力ある農業の振興	横ばい									
活力ある商工業の振興	横ばい									



指標の状況(対基準値)

まちづくり指標

降下ばいじん量	+9.1% 低下
地域の環境面において、生活に支障を感じている人の割合	+13.0% 低下
温室効果ガス排出量の削減割合	+4.7% 向上
市民一人1日当たりのごみの排出量	-14.4% 向上
東海市産の農産物を意識して購入している人の割合	+3.3% 向上
商工業、観光分野でにぎわいが創出されていると思う人の割合	-0.5% 低下

成果指標 (小数点端数表示の関係で、足し上げても100%にならない場合があります)

改善	61.1%	横ばい	0.0%	悪化	38.9%
----	-------	-----	------	----	-------

関連する個別計画

- 環境基本計画
- 地球温暖化対策実行計画
- ごみ処理基本計画
- 東海農業振興地域整備計画
- 農業経営基盤の強化に関する基本的な構想
- 鳥獣被害防止計画
- 産業振興ビジョン
- 観光ビジョン

施策 03 良好な生活環境の保全

主管課：生活環境課

■ 施策の目標
衛生的で、だれもが暮らしやすい生活環境になっています。

■ 施策の基本方針
大気汚染、降下ばいじん、水質汚濁、悪臭、騒音の実態把握に努め、正確な情報を市民へ提供するとともに、事業者などと連携しながら、発生量の低減を図ります。
また、市民や地域、事業者と協力して、清掃活動や害虫駆除などに取り組むことで、環境美化や日常生活における環境改善を推進します。

■ 施策実現の財源投入状況（単位：千円）

予算	R06年度	269,137	対前年比	96.7%
	R05年度	278,443		

決算	R06年度	267,309	対前年比	96.9%
	R05年度	275,830		

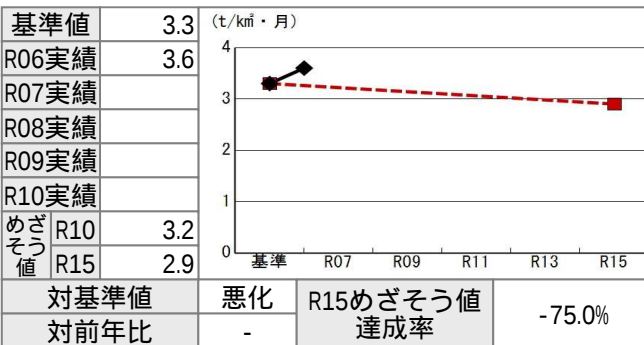
■ まちづくり指標の推移

降下ばいじん量 (t/km²・月)

地域の環境面において、生活に支障を感じている人の割合 (%)

指標NO.0003

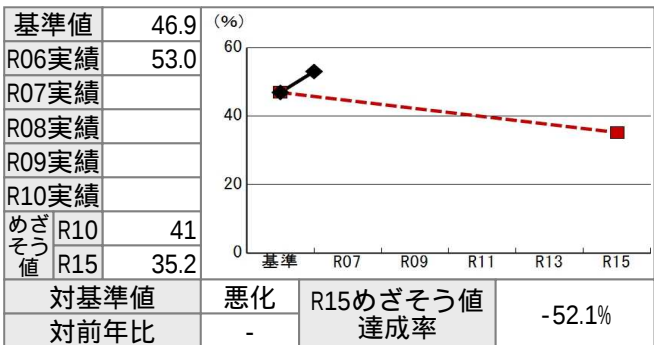
【指標特性】下がるが良い指標



生活環境課

指標NO.0004

【指標特性】下がるが良い指標



生活環境課

■ 施策全体の評価

順調でない

指標動向
・「降下ばいじん量」は、基準値より0.3トン悪化した。また、市北部平均は2.9トンで、市南部平均は4.4トンであり、南部は北部に比べて1.5トン多い（悪い）。
・「地域の環境面において、生活に支障を感じている人の割合」は、基準値より6.1ポイント悪化した。年齢別では、30代から50代までの子育て世代の割合が高く、学区別では大田・横須賀小学区が高い。支障を感じる項目としては、「降下ばいじん」が最も多く29.2ポイントで、2番目が「雑草繁茂」で13.2ポイントとなっている。

施策全体評価の要因分析
・「降下ばいじん量」が基準値より悪化しており、生活環境で支障を感じている人が増えていると考える。
・臨海部企業は降下ばいじん対策を行っているものの、昨年度は北西風の割合が多かったことなどの要因から降下ばいじん量が増加している。また、降下ばいじん対策について、広報やホームページで事業所の対策状況や降下ばいじんのよくある質問を掲載しているが、市民の理解促進につながっていないと考える。
・「地域の環境面において、生活に支障を感じている人」の具体的な支障内容として「不法投棄、雑草繁茂、動物・害虫」と回答する人の割合が増加しているが、その要因は、高齢化により市内で空家や空地が増加し、管理不全となることで不法投棄、雑草繁茂、害虫等の問題が顕在化してきたことによるものと考えられる。

今後の方針
・市民が日常生活において快適に過ごすためには、支障となる要因の発生源の対策が重要であり、県、市及び鉄鋼3社で構成する降下ばいじん対策検討会において、降下ばいじんの削減対策をより一層検討していくほか、不法投棄及び清掃パトロールの実施、水質汚濁、悪臭、騒音等の事業所への指導、市民の生活環境に対する管理意識及びマナーの啓発を徹底する必要がある。
・環境対策や環境改善活動などを市民が理解することで、生活環境が同じ状況であっても支障に感じる割合を低減させることができると考えることから、市及び事業所による環境対策などの情報発信の強化が必要である。

単位 施策	01	大気汚染、降下ばいじんを低減する				評価
			主管課：生活環境課			順調でない

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
大気汚染（降下ばいじん以外）により、生活に支障を感じている人の割合（％）	10.3	10.3	9.3	10.6	悪化
降下ばいじんにより、生活に支障を感じている人の割合（％）	26.8	26.8	30.3	29.2	悪化
降下ばいじん量（不溶解性成分量）（t/㎤・月）	1.7	1.7	2.0	1.9	悪化

成果 指標 動向	・「大気汚染（降下ばいじん以外）により、生活に支障を感じている人の割合」は、基準値から0.3ポイント悪化し、前年度から1.3ポイント悪化している。学区別は横須賀・大田小学区が高い。
	・「降下ばいじんにより、生活に支障を感じている人の割合」は、基準値から2.4ポイント悪化したが、前年度からは1.1ポイント改善している。年齢別は子育て世代の30～50歳代、学区別は横須賀・大田小学区が高い。
	・「降下ばいじん量（不溶解性成分量）」は、基準値から0.2トン悪化したが、前年度からは0.1トン改善した。また、北部平均は1.4トンで、南部平均は2.4トンであり、南部平均の方が1トン多い。

主な事業の概要 (単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
04-02-01	大気分析事業	7,006	6,921
活動 結果	大気汚染の状況を把握するため、分析を実施した ・分析項目 降下ばいじん、浮遊粒子状物質中の重金属分析、 ダイオキシン類分析、ばい煙分析、硫黄分析	決算の内訳（主なもの）	
		11節	74
		12節	6,847
		課名	
		【生活環境課】	

その他事業 (単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
04-02-01	大気汚染テレメータ運用保守経費 【生活環境課】	2,921	2,917
04-02-01	大気汚染自動測定器運用保守経費 【生活環境課】	12,974	12,974
04-02-01	測定器等維持管理経費 【生活環境課】	1,003	887

単位 施策		02 水質汚濁、悪臭、騒音を低減する				評価 順調	
						主管課：生活環境課	
成果指標名		基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値	
土留木川の平均BOD濃度（mg/ℓ）		9.9	9.9	6.1	4.3	改善	
騒音調査の基準値適合率（％）		83.4	83.4	87.5	87.5	改善	
成果指標動向	・「土留木川の平均BOD濃度」は、基準値より5.6ポイント改善しており、前年度からも1.8ポイント改善している。						
	・「騒音調査の基準値適合率」は、前年度から変化はないが、基準値より4.1ポイント改善している。内訳としては、道路交通騒音の適合率が100％で、環境騒音の適合率が75％であり、環境騒音の不適合はすべて夜間帯である。						
主な事業の概要						(単位：千円)	
款項目		事業名	R06年度予算		R06年度決算		
04-02-01		水質分析事業	1,529		1,529		
活動結果	河川、ため池、事業所の水質を分析することにより、住みやすい環境の維持を図った ・水質分析実施内容 河川(8地点 5、8、11、2月実施) ため池(15地点 6月実施) 工場排水(15地点 7月実施)		決算の内訳（主なもの）				
			12節	1,529			
			課名				
		【生活環境課】					
04-02-01		臭気分析事業	543		363		
活動結果	空気のきれいな住環境を維持するため、臭気を測定し、事業所の対策状況を確認した ・三点比較式臭袋法による測定 2事業所 ・測定日 2025年 1月29日		決算の内訳（主なもの）				
			12節	363			
			課名				
		【生活環境課】					
04-02-01		騒音測定事業	1,045		539		
活動結果	幹線道路近辺に居住する市民に住みよい環境を保全するため、騒音測定を実施した ・自動車騒音の面的評価 2区間 ・交通量調査 2地点 ・測定期間 2024年11月 5日～ 6日		決算の内訳（主なもの）				
			12節	539			
			課名				
		【生活環境課】					
04-03-01		西知多医療厚生組合負担金（し尿処理事業）	172,386		172,386		
活動結果	西知多医療厚生組合のし尿処理事業について負担金を支出した ・負担割合 し尿処理事業費 し尿・浄化槽汚泥投入量割 東海市 80.51％(知多市 19.49％)		決算の内訳（主なもの）				
			18節	172,386			
			課名				
		【リサイクル推進課】					
04-03-03		合併浄化槽設置補助事業	3,818		3,818		
活動結果	下水道認可区域外に新たに合併浄化槽を設置する経費を補助した ・対象 浄化槽設置者 ・補助率 定額 ・補助基準額 5人槽166千円、7人槽207千円、10人槽274千円、単独処理浄化槽撤去費60千円、くみ取り便槽の撤去費45千円、宅内配管工事費150千円 ・整備基数 5人槽 16基、7人槽 4基、10人槽 1基 計21基		決算の内訳（主なもの）				
			18節	3,818			
			課名				
		【リサイクル推進課】					

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
不法投棄、雑草繁茂、動物・害虫により、生活に支障を感じている人の割合（％）	18.0	18.0	23.7	24.3	悪化

成果
指標
動向

・「不法投棄、雑草繁茂、動物・害虫により、生活に支障を感じている人の割合」は基準値から6.3ポイント悪化し、前年度から0.6ポイント悪化している。年齢別では、30代以上の割合が多いが、16～19代が前年度より9.2ポイント悪化し、職業別では、パート・アルバイトが3.6ポイント、学生が3.2ポイント悪化している。地区では、市北部地区と南部地区の一部で悪化している一方で、中部地区が改善している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
04-01-05	猫避妊等補助事業	3,258	3,258
活動結果	野良猫によるトラブルを減少させるため、地域ねこに対し実施した避妊・去勢手術費の一部を補助した - 地域ねこ メス 207頭 オス 201頭 - 上限額 避妊 10,000円 去勢 6,000円	決算の内訳（主なもの）	
		18節	3,258
		課名	
		【生活環境課】	
04-01-05	地域ねこ活動推進事業	37	37
活動結果	野良猫によるトラブルを減少させ、地域ねこ活動を周知・推進するために地域ねこ説明会を実施した - 回数 年4回 - 開催日 2024年 6月24日、10月 3日、12月17日、2025年 2月17日	決算の内訳（主なもの）	
		7節	28
		8節	9
		課名	
		【生活環境課】	
04-01-06	害虫駆除事業	5,420	4,944
活動結果	市民生活の安全を確保するため、人に危害を及ぼす恐れのあるスズメバチ類の巣の撤去を実施するとともに、特定外来生物であるアルゼンチンアリの防除を実施した - スズメバチの巣の撤去 83件 - アルゼンチンアリの防除 12回	決算の内訳（主なもの）	
		1節	1,269
		10節	2,006
		11節	1,652
		課名	
		【生活環境課】	
04-01-07	地域美化推進事業	4,607	4,249
活動結果	ごみのないまちづくりを目指すため、不法投棄ごみの回収、道路等公共施設の清掃等を実施した - ごみ散乱防止市民行動月間 6月、9月 - 地域の清掃活動の参加者数 延3,601人 - 道路ごみ年間回収量 4,780Kg	決算の内訳（主なもの）	
		1節	3,742
		10節	375
		11節	99
		課名	
		【生活環境課】	
04-02-01	環境モニター設置事業	648	648
活動結果	環境モニター設置要領に基づき、公募により選任したモニターが、市内各所の環境実情を把握し、快適な環境づくりを推進した - モニター数 12人 - 年間報告件数 59件	決算の内訳（主なもの）	
		7節	648
		課名	
		【生活環境課】	

施策 04 自然と共生する持続可能な社会の実現

主管課：生活環境課

■ 施策の目標

市民や事業者、行政などが一体となり、豊かな自然を将来の世代に継承し、持続可能なまちになっています。

■ 施策の基本方針

令和32年（2050年）のゼロカーボンシティ実現のため、温室効果ガス排出量の削減に努めるとともに、市民や事業者に対しては、地球温暖化対策の啓発などによるカーボンニュートラルに向けた気運の醸成及び取り組みを推進します。

また、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを実践できる市民や事業者を増やすため、循環型社会の形成を目指し、3Rを推進するとともに、環境について学ぶ機会を充実させ、市民や事業者の環境意識の向上に取り組めます。

■ 施策実現の財源投入状況（単位：千円）

予算	R06年度	1,919,754	対前年比	80.9%
	R05年度	2,374,017		

決算	R06年度	1,849,798	対前年比	80.2%
	R05年度	2,307,035		

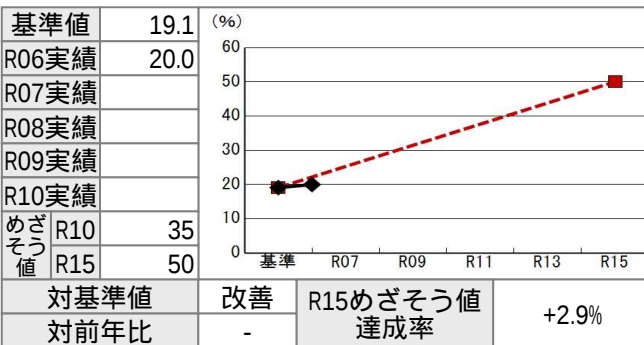
■ まちづくり指標の推移

温室効果ガス排出量の削減割合（%）

市民一人1日当たりのごみの排出量（g/人・日）

指標NO.0005

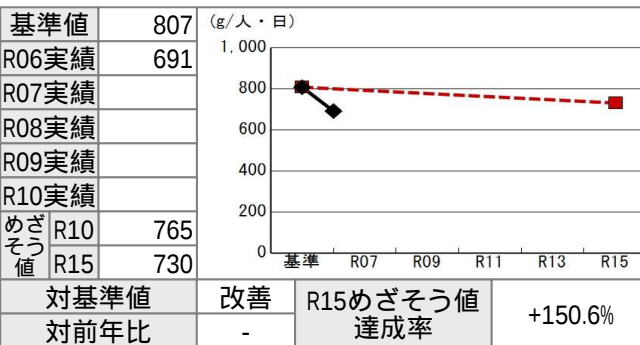
【指標特性】上がると良い指標



生活環境課

指標NO.0006

【指標特性】下がると良い指標



リサイクル推進課

■ 施策全体の評価

順調

指標動向

- ・「温室効果ガス排出量の削減割合」は、基準値より0.9ポイント改善している。
- ・「市民一人1日当たりのごみの排出量」は、基準値より116g減少しており、順調に推移している

施策全体の評価の要因分析

- ・まちづくり指標、成果指標は全て基準値から改善し、順調に推移している。
- ・「温室効果ガス排出量の削減割合」は、電力のCO2排出原単位が上昇し、民生家庭部門、民生業務部門において電力由来の排出量が増加したが、エネルギー価格の上昇に伴い電力料金の高騰が続くこと及び単位施策01「地球温暖化の防止に取り組んでいる人の割合」は改善していることから、市民や事業者のカーボンニュートラルに向けた気運は醸成されつつある。
- ・「ごみ減量等に取り組んでいる人の割合」が学区別では全ての校区で80ポイントを超えるなど高い水準で推移していることが、ごみの排出量の減少に影響している。
- ・「普段から環境に配慮した行動を実践している人の割合」は、学生などの若い年齢層でも割合が増加していることから、幅広い年齢層で環境への意識が高まっていると考える。

今後の方針

地球温暖化の防止、ごみ減量等に取り組んでいる人の割合はともに29歳以下の若い世代で低くなっていることから、学校での出前講座やエコスクール等により子どもたちやその親に対して環境について学ぶ機会を提供していく。
また、ゼロカーボンキャンペーンにおいて市内の店舗等と連携してゼロカーボンシティ啓発ブースを設置しているところであるが、若い世代が利用するような店舗等への拡大を図り啓発することで市民や事業者の環境意識の向上に取り組んでいく。

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
地球温暖化の防止に取り組んでいる人の割合（％）	76.9	76.9	78.8	80.1	改善
太陽光発電システムの設置件数（件）	4,566	4,566	4,825	5,281	改善

成果指標動向

- ・「地球温暖化の防止に取り組んでいる人の割合」は、前年度から1.3ポイント、基準値から3.2ポイント改善している。年齢別では、50代が87.3％と最も高く、40代以上で80％を超え、割合の低かった10代でも5.5ポイント改善した。職業別では、その他、主婦、パート・アルバイトが85％を超え、学区別では、三ツ池が94.9％と最も高くなるなど市南部地域で高い傾向にある。
- ・「太陽光発電システムの設置件数」は、前年度から456件、基準値から715件改善し、順調に推移している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
04-02-01	住宅用地球温暖化対策設備導入促進補助事業	58,144	30,895
活動結果	住宅用地球温暖化対策設備の導入に対し補助した ・一体的導入 84件（蓄電池46件、高性能外皮等38件） ・単独設置 151件（HEMS 34件、燃料電池16件、蓄電池99件、V2H 2件）	決算の内訳（主なもの）	
		18節	30,895
		課名	【生活環境課】
04-02-01	地球温暖化対策啓発事業	6,817	5,971
活動結果	ゼロカーボンシティロゴマークを活用したエコバッグ、うちわ等を作成し、市内イベント等で啓発するとともに、ゼロカーボンの日に向けて市民、事業者、行政の各主体が参加するゼロキャンペーンを実施した ・キャンペーン実施期間 2025年 2月 1日～ 3月 1日	決算の内訳（主なもの）	
		10節	1,316
		12節	4,539
		17節	116
		課名	【生活環境課】
04-02-01	事業者等省エネルギー設備導入等補助事業	10,000	15
活動結果	省エネルギー診断、温室効果ガス排出量を削減する設備改修等に対し補助した ・省エネルギー診断 補助率1/2 実績 1件 ・温室効果ガス排出量を削減する設備改修等 補助額 補助対象事業により減少する温室効果ガス排出量(t-CO2)に1万円を乗じて得た額 実績 0件	決算の内訳（主なもの）	
		18節	15
		課名	【生活環境課】
04-02-01	次世代自動車購入促進補助事業	40,091	29,115
活動結果	次世代自動車の購入に対し補助した ・電気自動車(EV) 補助限度額 300千円 実績 66件 ・プラグインハイブリッド自動車(PHV) 補助限度額 300千円 実績 41件 ・燃料電池自動車(FCV) 補助限度額 500千円 実績 0件	決算の内訳（主なもの）	
		18節	29,115
		課名	【生活環境課】
04-02-01	省エネ家電製品購入促進補助事業	35,340	29,980
活動結果	一定以上の省エネ性能を有するエアコン、冷蔵庫の買替えに対し補助した ・補助額 購入額 10千円以上100千円未満の場合 10千円 実績 25件 100千円以上150千円未満の場合 20千円 実績 81件 150千円以上の場合 30千円 実績 937件	決算の内訳（主なもの）	
		18節	29,980
		課名	【生活環境課】

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
市民一人1日当たりの家庭系ごみ（資源を除く）の排出量（g/人・日）	460	460	438	421	改善
ごみ減量、リサイクルに取り組んでいる人の割合（%）	81.8	81.8	83.8	84.8	改善

成果
指標
動向

- ・「市民一人1日当たりの家庭系ごみ（資源を除く）の排出量」は基準値から39g/人・日、前年度から17g/人・日改善している。
- ・「ごみ減量、リサイクルに取り組んでいる人の割合」は、基準値から3.0ポイント、前年度から1.0ポイント改善した。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
04-03-01	西知多医療厚生組合負担金（ごみ処理事業）	665,396	665,396
活動結果	西知多医療厚生組合のごみ処理事業について、西知多クリーンセンターの建設費及び付帯する事務経費の負担金を按分し支出した ・負担割合 人口割（東海市57.58%） （知多市42.42%）	決算の内訳（主なもの）	
		18節	665,396
		課名 【リサイクル推進課】	
04-03-02	資源集団回収事業	14,212	13,334
活動結果	ごみの減量化と資源化を推進するため、町内会・自治会、子ども会等が行った資源の集団回収を支援した ・団体数 91団体 ・回収品目 紙類、缶類、びん類、布類 ・回収量 1,636t	決算の内訳（主なもの）	
		7節	13,091
		10節	243
		課名 【リサイクル推進課】	
04-03-02	ペットボトル等処理施設空調機設置事業	15,730	15,730
活動結果	ペットボトル等処理施設に空調機を整備した ・場所 荒尾町奥山地内 ・内容 電気設備工事及び機械設備工事 ・工期 2024. 5. 2～2024. 9. 6	決算の内訳（主なもの）	
		14節	15,730
		課名 【リサイクル推進課】	
04-03-02	缶類中間処理事業	38,307	31,039
活動結果	資源として回収したアルミ缶、スチール缶等の選別・圧縮などの中間処理を行った ・処理量 149 t	決算の内訳（主なもの）	
		12節	31,039
		課名 【リサイクル推進課】	
04-03-02	清掃工場閉炉事業	195,221	194,796
活動結果	清掃工場の閉炉に向け、ごみピットの底ごみ処理や焼却施設の閉炉作業を実施した ・場所 荒尾町奥山地内 ・内容 底ごみ処理、焼却施設の閉炉作業 ・工期 2024. 5. 1～2024. 8. 8	決算の内訳（主なもの）	
		10節	14,906
		12節	47,359
		14節	132,000
		課名 【リサイクル推進課】	

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
普段から環境に配慮した行動を実践している人の割合（％）	68.2	68.2	70.7	72.6	改善

成果
指標
動向

・「普段から環境に配慮した行動を実践している人の割合」は、基準値より4.4ポイント向上し、前年度より1.9ポイント向上している。年齢別では、50歳以上の割合が高いが、16-19歳が基準値より16.1ポイント向上している。職業別では、学生が前年度から6.8ポイント、基準値より14.5ポイント向上している。地域では、市南部地区において割合が高い。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
04-02-01	環境審議会設置事業	425	363
活動結果	環境基本条例に基づき、環境基本計画、その他環境の保全及び創造に関する基本的事項を審議した ・委員数 19人 ・開催日 2024年 8月 2日、10月11日、2025年 1月27日	決算の内訳（主なもの）	
		1節	330
		8節	29
		10節	4
		課名	
		【生活環境課】	
04-02-01	環境基本計画推進事業	959	686
活動結果	市民、事業者、市民団体などからなる環境基本計画推進委員会を設置し、協働、共創により事業推進を図った ・委員数 15人(3部会) ・開催日 2024年 5月21日、 7月11日、 9月17日、2025年 1月10日 ・検討内容 年次報告書、次期環境基本計画策定の検討	決算の内訳（主なもの）	
		7節	655
		8節	26
		10節	5
		課名	
		【生活環境課】	
04-02-01	エコスクール開催補助事業	515	310
活動結果	豊かな感性を伸ばし、進んで環境保全に取り組むことのできる人づくりを目指すため、エコスクール実行委員会が実施する環境に関する講座の開催に要する経費を補助した ・講座実施数 事務局5講座、公募8講座 ・参加者数 1,232人	決算の内訳（主なもの）	
		18節	310
		課名	
		【生活環境課】	
04-02-01	環境基本計画策定事業	4,950	4,510
活動結果	環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、第3次環境基本計画を策定した 内容 計画のビジョン、基本的な施策、東海市生物多様性地域戦略、推進方法 等	決算の内訳（主なもの）	
		12節	4,510
		課名	
		【生活環境課】	

その他事業

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
04-02-01	環境対策一般経費 【生活環境課】	164	152
04-02-01	環境対策関係各種負担金 【生活環境課】	302	295

施策 05 魅力ある農業の振興

主管課：農務課

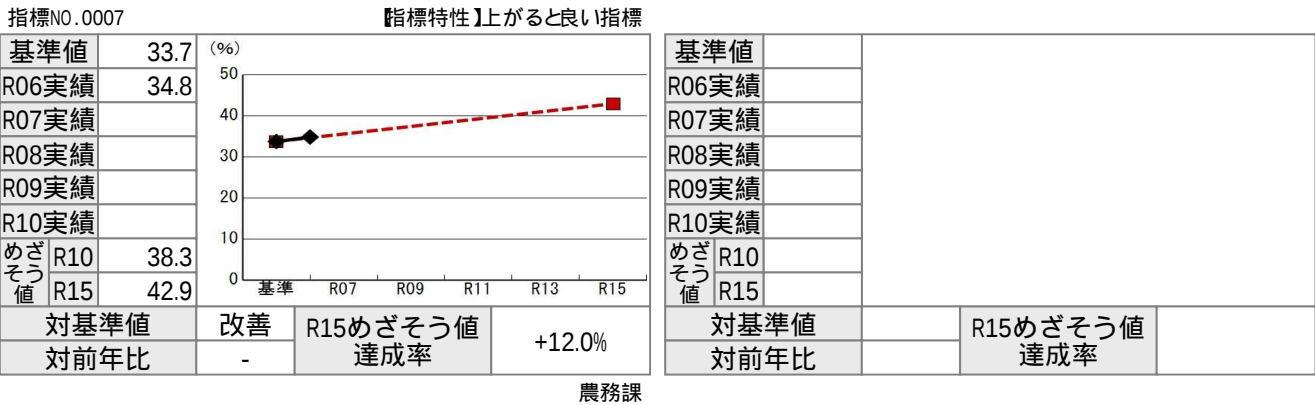
■ 施策の目標
農業の魅力が向上し、持続的に発展しています。

■ 施策の基本方針
土地改良事業などによる生産基盤の整備や、農業用施設の劣化状況に応じた適正な維持管理、担い手の育成・確保を行うことで、生産組織の強化を図るとともに、立地特性を生かした付加価値の高い農産物の生産性向上や生産コストの低減、優良品種の育成などにより、農業経営の安定化を支援します。
また、農業の持つ多面的な魅力を生かした市民農園や体験型農業、イベントの開催を通じて、農業の魅力を発信します。

■ 施策実現の財源投入状況（単位：千円）

予算	R06年度	422,544	対前年比	176.7%	決算	R06年度	402,316	対前年比	176.9%
	R05年度	239,110				R05年度	227,422		

■ まちづくり指標の推移
東海市産の農産物を意識して購入している人の割合（％）



■ 施策全体の評価 横ばい

指標動向
・「東海市産の農産物を意識して購入している人の割合」は、基準値より1.1ポイント改善している。年齢別では75歳以上、職業別では自営業が最も高い値となっている。

施策全体評価の要因分析
・まちづくり指標は順調であるが、単位施策の成果指標「農地の有効利用率」「地域特産品の出荷額」は低調であることから施策全体の評価としては、横ばいとする。
・「東海市産の農産物を意識して購入している人の割合」が60歳以上の人が大きな割合を占めており、若年層より高齢層が地元産に関する意識をしている状況となっている。
・単位施策01「農地の有効利用率」は基準値より改善している。これは、大規模な開発等により総農地面積は毎年減少していることに加え、農業者の高齢化及び後継者不足に伴い、遊休農地が増加したことが要因と考える。
・単位施策02「地域特産物の出荷額」は、基準値より低下しており、タマネギや花きのうち、鉢物の出荷額が減少している。これは、他の産地の生産状況などにより価格が低下したことなどが要因と考える。

今後の方針
・農地減少の中、補助金による負担軽減など営農継続しやすい環境を維持し、農業経営の安定化を図る。
・新規就農者に対し、「農業人材力強化総合支援事業費補助金」による支援を継続する。
・イベントを通じて、農業の必要性等の魅力発信を行うとともに、ブランド化等により農産物の付加価値を上げ収益性を高めるなど、農業に対するイメージの改善や職業としての魅力向上に努め、新規就農者の呼び込みを図る。

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
農地の有効利用率（％）	95.3	95.3	95.0	94.8	悪化

成果指標動向

・「農地の有効利用率」は、資材置場・駐車場棟の転用により総農地面積が減少したことに加え、遊休農地面積が増加していることから、基準値から0.5ポイント低下しており、前年度からは0.2ポイント低下している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
06-01-03	農業振興地域整備計画変更事業	6,828	6,509
活動結果	2014年度に策定した整備計画をもとに、農業振興地域の整備に関する法律に基づく基礎調査を実施した ・内容 農地の分布や面積、土地利用の動向、農業者の営農状況や現状、大規模な開発構想等の調査		決算の内訳（主なもの）
			10節 19
			12節 6,490
			課名
			【農務課】
06-01-06	加木屋第三排水機場整備事業	30,580	30,580
活動結果	ポンプの安定した運転及び施設の長寿命化を図るため、除塵機整備工事を実施した ・場所 加木屋町裾地内(船島小学校西) ・内容 φ500mm水中ポンプ用除塵機設置 ・工期 2024.10.17～2025.3.14		決算の内訳（主なもの）
			14節 30,580
			課名
			【農務課】
06-01-06	天宝物排水路調査事業	6,070	5,808
活動結果	地区の農業排水を天宝物ポンプ場へ集約し、施設の統廃合を検討するための調査を実施した ・内容 天宝物地区の排水路調査及び天宝物ポンプ場への排水路の接続の検討		決算の内訳（主なもの）
			12節 5,808
			課名
			【農務課】
06-01-06	信濃川農業用樋門撤去計画作成事業	4,627	4,510
活動結果	信濃川の河川改修により、信濃川農業用樋門を撤去するため、農業農村整備事業の採択申請に係る事業計画を作成した ・内容 事業計画概要書作成、経済効果算定、環境配慮調査		決算の内訳（主なもの）
			12節 4,510
			課名
			【農務課】
06-01-06	加木屋第八用水機場整備費補助事業	314	314
活動結果	用水機場設備の老朽化により、設備の一部を更新するための整備費に対して補助した ・内容 ポンプ2台更新 一式 ・補助率 50/100以内		決算の内訳（主なもの）
			18節 314
			課名
			【農務課】

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
地域特産農産物の出荷額（億円/年）	13.1	13.1	12.0	11.6	悪化
人・農地プランに位置付けられた中心経営体数（戸）	85	85	86	86	改善

成果
指標
動向

- ・「地域特産農産物の出荷額」は、基準値から1.5億円低下しており、特に野菜（たまねぎ）、花き（洋らんを除く鉢物）で大きく低下した。前年度からは4,000万円低下しており、特に花き（洋らんを除く鉢物）が低下している。
- ・「人・農地プランに位置付けられた中心経営体数」は、基準値および前年度から1戸改善している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
06-01-03	玉ねぎ黒腐菌核病防除補助事業	3,791	3,791
活動結果	本市の特産である玉ねぎの安定的な供給のため、黒腐菌核病対策に使用する土壌消毒剤の購入経費の一部を補助した ・対象者 市内玉ねぎ生産者 ・補助率 1/2以内 ・補助件数 129件	決算の内訳（主なもの）	
		18節	3,791
		課名	
		【農務課】	
06-01-03	物価高騰対策営農継続支援補助事業	22,200	16,596
活動結果	物価高騰の影響を受けた市内農業者に対し、出荷・販売用資材の購入費の一部を補助した ・対象期間 2024. 4. 1～2025. 2. 28 ・補助率 1/2以内 ・上限額 100千円 ・補助件数 214件	決算の内訳（主なもの）	
		18節	16,596
		課名	
		【農務課】	
06-01-04	都市近郊農業施設設置費等補助事業	12,800	12,644
活動結果	農業者が投資する園芸用施設及びその付帯施設の整備費に対して補助した ・対象者 市内施設園芸農家 ・補助率 1/2以内 ・補助件数 事業費500万円以上 1件(補助上限額 100万円) 事業費500万円未満 20件(補助上限額 80万円)	決算の内訳（主なもの）	
		18節	12,644
		課名	
		【農務課】	
06-01-04	かんきつ（夕焼け姫）ブランド化推進補助事業	710	423
活動結果	「夕焼け姫」の産地化・ブランド化に向けた取組みを支援するため、苗木に加え土壌被覆材の購入経費の一部を補助した ・対象者 東海市果樹振興会マルチ栽培夕焼け姫部会員 ・補助率 1/2以内 ・補助件数 苗木補助 9件 被覆資材 9件	決算の内訳（主なもの）	
		18節	423
		課名	
		【農務課】	
06-01-07	農業センター本館屋根及び外壁改修事業	70,290	70,290
活動結果	農業センター本館の外壁改修及び屋根防水改修工事を実施した ・場所 東海市富木島町八幡下地内 ・内容 外壁改修 3,751㎡ 屋根防水改修 1,305㎡ ・工期 2024. 7. 9～2024. 11. 29	決算の内訳（主なもの）	
		14節	70,290
		課名	
		【農務課】	

施策 06 活力ある商工業の振興

主管課：商工労政課

■ 施策の目標

商工業の活性化や観光の発展により、まちににぎわいや活力が創出されています。

■ 施策の基本方針

商工会議所などと連携し、創業への支援をはじめとした商工業における活性化を促し、事業者の経営を継続的に支援するとともに、商工業の発展を下支えする労働者のため、雇用の促進や働きやすい環境整備を支援します。

また、地域や事業者と協力しながら観光資源の魅力を向上させ、活用することで、観光客や来訪者、本市に関わりのある人を増やし、交流人口や関係人口の拡大により、まちのにぎわいを創出します。

■ 施策実現の財源投入状況（単位：千円）

予算	R06年度	731,714	対前年比	91.6%
	R05年度	798,485		

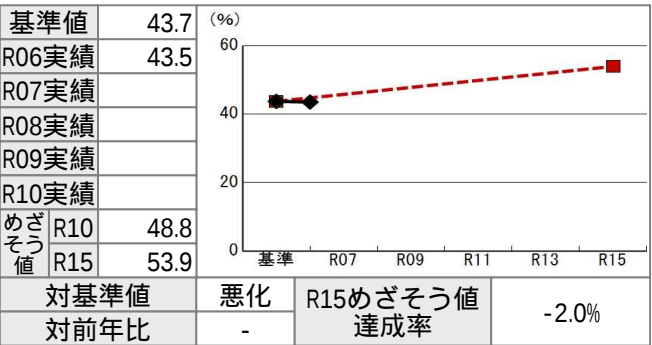
決算	R06年度	713,810	対前年比	92.0%
	R05年度	775,903		

■ まちづくり指標の推移

商工業、観光分野でにぎわいが創出されていると思う人の割合（％）

指標NO.0008

【指標特性】上がると良い指標



基準値	
R06実績	
R07実績	
R08実績	
R09実績	
R10実績	
めざそう値 R10	
めざそう値 R15	
対基準値	
対前年比	
R15めざそう値	達成率

商工労政課

■ 施策全体の評価

横ばい

指標動向
・「商工業、観光分野でにぎわいが創出されていると思う人の割合」は基準値と比べ0.2ポイント低下している。
・企業や事業所、飲食店やイベントが多いと回答した割合が高いが、飲食店以外の店舗や観光名所については、割合が低い。
・年齢別では20～30代が高く、学区別では大田校区が最も高い。これは、飲食店の多さやイベントの実施が要因であると考えられる。

施策全体評価の要因分析
・「商工業の活性化を推進する」をはじめ単位施策は改善、横ばいで推移している。
・年々物価が高騰する厳しい状況が続くなか、単位施策01「商工業の活性化を推進する」の成果指標「売上が増加している事業所の割合」が向上している。これは、市内小規模事業者キャッシュレス決済ポイント還元事業等により市内での消費喚起を図り、買い物やサービス利用を促進したことが要因と考える。
・単位施策02「観光資源の魅力を向上させ、観光交流を推進する」では、コロナ禍を経て、人々の往来が活発を取り戻し、市内宿泊施設の宿泊者数が過去最高となった。若い世代を中心に多くの来場がある桜まつり等のように、地域資源のポテンシャルを生かしたイベント等も評価されていると推察する。

今後の方針
・日本全体では緩やかな経済回復基調であるといわれているが、物価高騰や働き手不足など、商店や企業を取り巻く環境は厳しい状況が続くことが見込まれることから、引き続き、企業立地の促進や交流人口の拡大による市内での消費喚起、事業活動の継続に向けた支援など、幅広い視点での事業展開を推進していく。
・東南アジア諸国からのインバウンド需要の高まりなどにより、交流人口や観光客数の増加が見込まれるため、観光資源の磨き上げや、既存事業のブラッシュアップ、ターゲット層に応じたSNS等を活用した広報の強化を図り、にぎわい創出・拡大につなげていく。

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
売上が増加している事業所の割合（％）	35.4	35.4	34.3	38.3	改善

成果
指標
動向

・年々物価が高騰する厳しい状況のなか、「売上が増加している事業所の割合」は基準値と比べ2.9ポイント、前年度と比べ4.0ポイント改善している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
07-01-02	産業まつり開催補助事業	23,545	20,872
活動結果	市制55周年を記念し、拡充して開催する産業まつりの事業費を商工会議所に対して補助した ・時期 2024年11月 2日、3日 ・場所 元浜公園等 ・補助率 一般事業費 1/2 共通経費 10/10 ・来場者数 約113,000人	16,684	決算の内訳（主なもの）
			18節 20,872
			課名
			【商工労政課】
07-01-02	信用保証料補助事業	16,684	16,511
活動結果	小規模企業等振興資金等の融資を受けたものが負担する信用保証料の一部を補助した ・補助率 通常枠 信用保証料の60％～100％ コロナ枠 信用保証料の100％ ・補助件数 192件	1,413	決算の内訳（主なもの）
			18節 16,511
			課名
			【商工労政課】
07-01-02	企業立地交付金事業	1,413	1,380
活動結果	企業の立地を促進するため、市内に工場等の新設又は工場等若しくは償却資産の再投資をする企業に対して交付金を交付した ・中小企業再投資交付金 3件	1,021	決算の内訳（主なもの）
			18節 1,380
			課名
			【商工労政課】
07-01-02	中小企業・小規模事業者雇用促進支援補助事業	1,021	1,021
活動結果	商工会議所が実施する中小企業・小規模事業者の人材確保のため、地域に在学する学生への雇用促進支援事業に対して商工会議所に補助した ・補助率 1/2 ・参加事業者数 27事業者 ・合同企業説明会来場者数 58人	183,504	決算の内訳（主なもの）
			18節 1,021
			課名
			【商工労政課】
07-01-02	市内小規模事業者キャッシュレス決済ポイント還元事業	183,504	183,504
活動結果	物価高騰の影響を受けている市内小規模事業者及び市民への支援と、キャッシュレス化による商業活動を推進するため、キャッシュレス決済によるポイント還元事業を実施した ・実施時期 2024年 8月 1日から 8月31日 ・還元内容 決済額の20％を還元(上限あり) ・決済事業者 PayPay、auPAY、d払い、楽天ペイ		決算の内訳（主なもの）
			11節 9,424
			12節 25,981
			18節 148,099
			課名
			【商工労政課】

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
観光地点等入込客数（人/年）	302,060	302,060	451,456	402,847	改善
市内宿泊施設の宿泊者数（人/年）	249,025	249,025	251,696	287,289	改善

成果
指標
動向

- ・「観光地点等入込客数」は基準値に比べ33.4%改善し順調であるが、前年度に比べ10.8%低下している。
- ・「市内宿泊施設の宿泊者数」は基準値に比べ15.4%、前年度に比べ14.1%改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
07-01-04	東海まつり花火大会開催事業	27,454	27,334
活動 結果	観光振興を図るため、花火大会を市制55周年を記念し、拡充して実施した ・時期 2024年 8月10日 ・場所 大池公園 ・来場者数 約125,000人	決算の内訳（主なもの）	
		12節	27,334
		課名	
		【商工労政課】	
07-01-04	沖縄フェスティバル開催事業	6,060	6,059
活動 結果	観光振興や中心市街地のにぎわいを図るため、沖縄フェスティバルを市制55周年を記念し、拡充して開催した ・時期 2024年 7月19日、20日 ・場所 大屋根広場 ・来場者数 約8,300人	決算の内訳（主なもの）	
		12節	6,059
		課名	
		【商工労政課】	
07-01-04	ひかりの観光資源創出事業	30,509	30,509
活動 結果	公園等の魅力を高めるため、各種イベントに光と音を加えたライトアップ等を実施した ・場所 大池公園(桜まつり)、 聚楽園公園(もみじまつり・聚楽園大仏) ・来場者数 約45,000人(桜まつり)、 約16,000人(もみじまつり・聚楽園大仏)	決算の内訳（主なもの）	
		18節	30,509
		課名	
		【商工労政課】	
07-01-04	工場夜景観光促進事業	3,051	3,038
活動 結果	全国工場夜景都市協議会に参加するとともに、全国工場夜景サミットを開催した ・時期 2024年10月12日 ・場所 芸術劇場 多目的ホール ・来場者数 133人	決算の内訳（主なもの）	
		8節	43
		12節	2,845
		18節	150
		課名	
		【商工労政課】	
07-01-04	工場夜景観光促進補助事業	2,230	2,224
活動 結果	工場夜景を観光資源として活用したクルーズ船運航を実施した ・時期 2024年8月23日、27日、9月10日、18日、23日、27日、 10月3日、18日、11月4日、11月22日 ・回数 10回（うち8月27日は台風で中止） ・参加人数 718人	決算の内訳（主なもの）	
		18節	2,224
		課名	
		【商工労政課】	

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
地域職業相談室の就職件数及び内職相談による斡旋件数 (件/年)	448	448	395	395	悪化

成果
指標
動向

・「地域職業相談室の就職件数及び内職相談による斡旋件数」は基準値に比べ11.8%低下しているが、前年度と比較して横ばいで推移している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
05-01-01	地域職業相談室管理運営経費	3,001	2,623
活動結果	職業相談体制の充実、相談機能の強化を図るため、地域職業相談室の管理運営経費を負担した - 相談日 週5日(月～金曜日) 9時30分～12時・13時～17時 - 場所 市役所地域職業相談室 - 相談件数 3,760件		決算の内訳(主なもの)
			1節 1,902
			3節 253
			4節 329
			課名
			【商工労政課】
05-01-01	中小企業退職金共済制度加入促進補助事業	3,239	3,142
活動結果	中小企業退職金共済制度の加入を促進し、従業員の福利厚生の向上等を図るため、中小企業主が従業員への退職金支給のために積み立てる共済掛金に対して補助した - 対象 中小企業主 - 補助率 12箇月分納付掛け金の10% - 補助件数 104事業所		決算の内訳(主なもの)
			18節 3,142
			課名
			【商工労政課】
05-01-01	勤労者福祉サービスセンター運営費補助事業	39,410	39,410
活動結果	知多5市5町の広域による知多地区勤労者福祉サービスセンターの設置に伴い、管理運営に要する費用を知多5市5町分を取りまとめて補助した 東海市負担割合 17.879%		決算の内訳(主なもの)
			18節 39,410
			課名
			【商工労政課】
05-01-01	パートタイム労働者福祉対策補助事業	1,872	1,751
活動結果	知多5市5町の広域による知多地区勤労者福祉サービスセンターに加入したパートタイム労働者の会費を負担する中小企業に対して補助した - 補助金額 1人につき300円 - 延人数 5,835人		決算の内訳(主なもの)
			18節 1,751
			課名
			【商工労政課】
05-01-01	優良従業員顕彰式開催事業	95	73
活動結果	勤労者の勤労意欲を向上させるため、市内企業の推薦に基づき、優良従業員を顕彰した - 時期 2024年11月21日 - 場所 商工センター - 表彰者 30名(特別表彰 22名、一般表彰 8名)		決算の内訳(主なもの)
			7節 67
			10節 6
			課名
			【商工労政課】